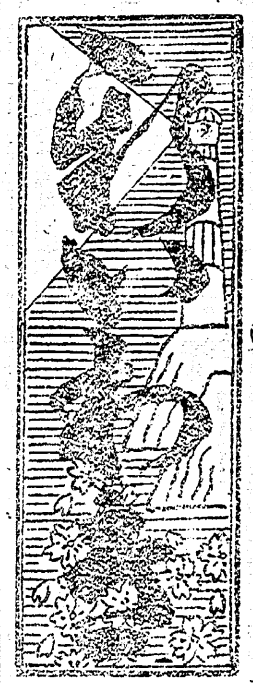
十二月十一日夕刊

日刊但シ日曜祭日及日休刊一ケ月貳拾五錢 郵税十五錢一部二錢 廣告料 所定 一行四十錢 二十錢 平谷政吾

發行所 福島縣平市大町二三 電話いわき新聞社



南京陷落行進

祝 旗行列と提灯行列

今十一日の歡喜の平市

湧き返る晝夜の萬歳

國を擧げて祝勝の日を待れた支那の首都南京は我が軍の勸降を容れざる爲め遂に總攻撃を受けて一たまりもなく昨十日夜十時半最重要なる東華門を占領され城壁高く日章旗を揭げられるところとなり今はたゞ殘敵掃蕩のみとなつた此の快報に接した平市の昨夜半は歡喜の餘り眠むるもならず奉祝の行進を待たれた今十一日市内各學校では午後一時から學生々徒一万の旗行列を行ひ全市民熱狂の歡喜の中に日没の午後六時からは總ねて準備の隊伍を市役所構内及び第四校庭に集合青年團その他約二萬と云はれる提灯行列を行はれるが火の波の美歡は想像するに餘りあり其の行進の順路は左記の如くである

▲第一部隊

市役所前…才槌小路…本町…鎌田…月見町…新川町…大町…警察署前…田町…市役所前

▲第二部隊

市役所前…才槌小路…本町…大工町…仲間町…北白銀…舊城跡…才槌小路…市役所前

▲第三部隊

市役所前…才槌小路…紺屋町…研町…公園裏…長橋町…材木町…鍛冶町…南町…平郵便局側…白銀…驛前…市役所

▲第四部隊

市役所…古鍛冶町…管の澤…久保町…北目…舊城跡…市役所前

▲第五部隊

第四小學校々庭集合…二隊に分れて舊平運地内行進

南京陷落の奉告祭

今十一日午後二時平市では南京陷落の報に接した今十一日午後二時青沼市長外各課長及び市議、區長並びに各種團体代表參列子鍬倉、飯野八幡の兩縣社に戰勝奉告祭と武運長久祈願祭をなす、

開渠の道路化 明日鍬入

竣功は明春四月

平市本町南裏に於ける愛谷江分流開渠を暗渠とする舗裝道路化の工事は從來の此の種事業の直營を請負として施工を試むべく指名入札に附したが數千圓に及ぶ開きの爲め直營となりて施行準備中であつたが諸材料を全部整へ明十二日朝鍬入を行ふことゝなつた同工費は一万餘圓で今回の施工區域は字土橋通りから平舘前に至る百九十四間竣功は明年四月上旬頃になるであらうと

小學兒童の劍道大會

石城郡下平、植田、四倉三警察署管内武德分會聯合主催の小學兒童劍道大會は明十二日午前九時から平第三小學校講堂に於て開催される同會出場選手は高等科八校（昨年より磐崎校第一校增加）尋常科五校（昨年より磐崎校增）で選手の參加六十五名（高等四〇尋常二五）を算する試合は相當の見ものであらう

少年劍試の席列

明十二日平第三小學校講堂に於て催される小學兒童劍道試合の席列は今十一日平署で新聞記者立會抽籤左記の如く決定した

▲高等科磐崎　平第一　同第三　大浦　好間▲尋常科　草野　鄕　四倉　好間　平第一　豐間　高久　磐崎

大日本電力卒先して電氣料金の引下斷行

今月から五分乃至一割五分

昭和七年十二月一日施行の電氣事業法に據る第一回の一般電氣料金の更改が全國一齊に發表されたが何れも時代相を表現しての引下統一で本縣下に於ける大日本電力も卒先して大勢に順應大要左記の如く引下更改をなした、

▲電燈の部は定額料金一灯一ケ月則安式燈明燈金廿錢五燭燈五十五錢、十燭六十五錢（四十二錢）廿燭八十錢（四十八錢）卅二燭一圓（六十錢）五十燭一圓卅五錢（九十五錢）百燭二圓五錢（一圓四十四錢）二百燭四圓（二圓六十四錢）四百燭八圓（五圓四錢）五百燭十圓（六圓二十錢）括孤内は屋外、

▲從量料金1電氣力料金電灯一燈一ケ月平均消費電氣力量二キロワット時以内一キロ時に付十八錢、二キロ時超過分一キロ十四錢、四キロ同一キロ十錢、六キロ同一キロ六錢、

◇最低料金電灯一燈一ケ月平均取付灯數十燈まで一灯に付一五キロ時分の料金▲同十灯超過分一灯に付一キロ時分の料金、

◇電力の部（定額電力料金）二分の一馬力以上一台に付一ケ月金四圓（八圓）一馬力以上一馬力に付七圓（十四圓）二馬力以上一馬力六圓九十錢（十三圓八十錢）三馬力以上同六圓八十錢（十三圓六十錢）五馬力同六圓六十錢（十三圓廿錢）六馬力同六圓五十錢（十三圓）七馬力同六圓四十錢（十二圓八十錢）十馬力同六圓十錢（十二圓廿錢）十三馬力五圓九十錢（十一圓八十錢）廿馬力五圓七十錢（十一圓四十錢）卅馬力五圓五十錢（十一圓）

以上括孤内は晝夜間、

（從量料金）五馬力まで一キロに付き七錢（六錢五厘）十馬力同六錢五厘（五錢）卅馬力同五錢五厘（四錢）括孤内は晝間七十キロ時晝夜間百キロ時までの超過分、

（同最低使用量）二分の一馬力に付晝夜間七十キロ時、晝間三十五キロ時▲一馬力に付晝夜間九十キロ時、晝間五十キロ時、

以上諸料金は勿論總て遞信省の認可によるもので總体に料金徴收種目の廢止又は輕減が行はれた特に定額電燈料金率は低く光より高く光に到る各々五分乃至一割五分の引下があり其の内十六燭光は廿二燭光へ廿四燭光は卅二燭光へと物にて値引する等の苦心も伺はれる電力料は動力使用は其便益上將來殆んど從量取引になるべきを見越せるものか此方面に最低料を引下、且つ「キロワット」時二割乃至二割五分程度の引下をなしてゐる、定額電燈料の表示には器具損料（一般に電灯、月五錢乃至十錢を徴收することを認可せられてゐる）と點火料とを別々に表示するものと之れを併合して表示するものとの二つの方法がある、當該會社の表示は後者に關するから器具損料を別に徴收する會社よりは其れ丈低額となる譯である、其の他電灯及計器の取付料を全廢せる電燈計器損料（一般に一個月二十五錢以上にて認可せられてゐる）を徴收せざる等は他の同業者に比し出色ありと見るべく之れを縣下の福島電灯、會津電力等の諸會社に比して總体上の需用家負擔は低位になることゝなるのであらう、從つて從來縣下の大會社中での最高料金會社としての惡評のあつたものなれば躍進的更改と見るべきであらう

俵米共販の出荷

九十六俵

石城郡販聯に於ける今十一日の俵米共販は出荷左記の如く競爭入札に附されたが相場は前回値が動かざるものと見られてゐた

大野倉庫四等九四俵　等外二俵　計九十六俵

小名濱消防組の屯所落成式

小名濱消防組では工費八千圓を投じ組員詰所の本部を新築中であつたが此の程竣功を告げ來る二十二日落成式を擧行すると

三村聯合農產品評會の受賞者

石城郡田人、上遠野、入遠野三ケ村農產物品評會は此の程の開催に柴田郡農技手の審査長で選別擬賞されたが受賞者は左記の人々であつた

▲一等大根小川昌身（入遠野）白菜櫛田喜重（上遠野）人參大平直久（同）大根内山助一郎（田人）馬鈴薯綠川久太（同）小豆酒井花男（入遠野）小麥平樂子之太郎（同）玄米金子高光（上遠野）大豆馬上たま（同）蒟蒻上遠野太一（同）同平樂かつ（入遠）同芳賀汎（田人）柿鈴木捨次郎（同）▲二等馬鈴薯櫛田たみ（入遠野）外三十四名▲三等白菜平子正一（入遠野）外七十一名▲四等大根平子義久（入遠野）外百五十名▲蒟の部一等小澤保太郎（入遠野）綠川良三（田人）平子直次郎（入遠野）高木つや（同）綠川喜一郎（田人）二等上遠野駿一（入遠野）外九名▲三等小宅安藏（田人）外十七名▲四等面川政芳（入遠野）外二十五名▲眞綿の部一等小野直吉（上遠野）二等鯨岡正記（入遠野）鈴木清三郎同▲三等下山田鶴松（上遠野）外二名▲四等平子利一（入遠野）外四名▲木炭の部一等小澤德之助（石住）鈴木敬二郎（同）折笠盛春同▲二等平子武（石住）外五名▲三等鈴木保太郎（石住）外十四名▲四等御所脇虎吉（貝泊）外三十二名▲炭俵の部二等芳賀つる▲三等二名、四等三名（以上）

常識講座

ビルグリムは巡禮、道者、行脚のこと、ビルグリシージも前に同じい聖地參詣であるとか回國巡禮であるとか行脚の謂である、ビル、コレクタ！と云へば集金または掛取などの意

陣中作歌

『歩哨』

平市出身　國谷定一

夜寒々の闇の内、敵前線の歩哨線、彈丸の音のみ耳に冴え、頭上をかすめる肌寒し、前に見ゆるは綿畑、向ふの森は敵陣地、夜半も過ぎて敵味方、疲れ果てたか夜深く、星のまばたき聖燈の、銃持ちつゝ幻の、故郷の母が丈夫かと、吾子の虫の啼きぬか、突いなゝきの聲細し、彈丸は當るか厩の邊、馬の斃死を報告し、仰ぐ夜空のまた靜か、

『クリーク』

全支に網の目の如く、あるクリーリの珍らしさ、各家々の安全と、火災の爲めの備へにか、今たゝかひの眞中には、各兵員の一苦勞、進め〳〵の號令に、よし山河をも通り越し、クリークものかわ躍り込む、悲壯と云ふも愚かなり、あゝ泥水の深さには、寒さは深し泥姿、各家々は城廓と、守るクリーク深堀と、一家の○を落すのも、犧牲幾何涙かな（○は不明の點）

丹野セツ轉向聲明

上申書

（2）原文のまゝ

で私の殘された任務は母への孝養と云ふ大きな責任を強く感じてゐました、こうした關係から私は自分の親兄弟の意見に反對しても渡邊の母への心づかひから轉向を聲明せずに出所後の母との生活に依つて一切の社會運動から去る考へでした出所後今日まで二ケ月餘に渡り親兄弟に反對してまで凡ゆる努力をし母の諒解を得ることに心をくだきました、そしてやつと母に會ふ事が出來まして一ケ月餘に渡り、母の病家と私の病氣の靜養のため山の中の湯場で一緒に生活し今後の私達の方針について語りました私は母の前へ泣いて轉向することによつてのみ二人は今日生活して行くことが出來ることを話しました、然し渡邊の母は「彼に對してすまぬから轉向しない、意識と理解のある人の下で一生を終りたい」と云つて私の下を去りました、私もこれ以上如何ともなし得ませんので止むなく涙を含んで自分の初心を完徹するために、この際渡邊の母とは母のためにも私のためにも別れる事を決心いたしました從つて今日までの母への心づかいも無になりました、ので更めてこゝに轉向を聲明いたす樣な次第です、何卒以後よろしくお願ひいたします、今後は父母のすゝめに從ひましてミシンでも習つて生活して行きたいと考へてゐます、右の如き通り書面を以て一言申し上げます（完り）

農方面

甘藷の黒班病 種藷で防げ

（1）　農林當局の談

甘藷の成長を蝕む大敵である黒班病は從來栽培農家も比較的輕視してゐたが今年春鹿兒島縣下で貯藏中の種藷が夥しく腐敗した千葉縣海上郡でも種藷の腐敗續出の報告があつた爲め農林省農務局で重視して堀技手、卜藏囑託及び西原農事試驗場田杉技師を現地に派して詳細調査の結果右の恐るべき甘藷の大敵（黒班病）と判明、極力關係地方に手配して病害の蔓延阻止に努めたが殆んど奏効せず最近に至りその被害區域は千葉縣の一圓を初め群馬縣の生品村及び栃木縣の一部、茨城縣の息栖村、渡崎町、埼玉縣は相當の廣範圍に亘り東京府は一部新潟縣も同じく神奈川縣の高座、中郡の一部數ヶ村、愛知、愛媛、佐賀、長崎、鹿兒島縣等全國十三府縣の殆んど甘藷主産地全部に亘りて蔓延してゐる驚くべき事實が判り農林省では此の程さらに全國的に嚴重調査せしむる一方この黒班病の病菌傳播を最小限に止める爲め關係各縣へ其の防除方法を指示して極力被害阻止に努めてゐる

右の黒班病の病徴、防除方法等につき實地調査に當つた農務局農産課當局の語るところを左に上げて見やう、

病徴甘藷の栽培期間を通じて芽條、嫩苗、塊根等に發生する芽枯、嫩苗では主に地下部または地際部附近に發生し最初は小さい黒班であるが漸次擴大し時には莖を取卷きいはゆる黒脚症狀を呈し或は莖に添うて長くなり莖に及ぶことがある。

ガソリン　モビール油　日本石油株式會社　特約販賣

油問屋　關内油店　平市　電話長16

支店　郡山市驛前通　電話長三二八
支店　茨城縣關本驛前　電話長平潟七三
油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

お醤油屋さん　ヤマフル
醤油、味噌、たひら正宗、鰹節食料品
山崎合名會社　電話　營業部一〇番　本店二七番
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

可愛らしいお子様方の　七五三　祝品に　種々取揃へました　ヤルツ　平四・電一四〇

病院　産科　婦人科　醫學博士　五十嵐雄二　築、手術室完備　平市新川町「電話三六九番」

一般　内臓外科　泌尿器科　北川外科　平市新川町二七（電四六四）　醫學博士　北川芳夫　技師　三浦常保　畫夜診療（毎日）　（血液マス　イ学　入院室

藤沼醫院　平市紺屋町　電五〇七

債券　公債　両替　金融　多田井質店　平市大工町　電話五九一番

食事。喫茶。酒場を兼ねた。　レストラン　サロン　平田町　電二五三

二次二　横山商店　平市仲間町　振替東京九〇一六〇番　電話二一七番　債券部　雑貨部

デーリーサービス　特にマルトモのランチは…

割日	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	三〇	チキンライス	三五
火	ポークチャップ	三五	カツ親子丼	三〇
水	エビフライ	三五	ハヤシライス	三〇
木	メンチボール	三五	オムライス	三〇
金	コロッケ　ヒレフライ	三〇　三五	ハムライス	三〇
土	ビーフテキ	三五	カレーライス	一五
日	〃　ランチA　〃　ランチB	四〇　六〇	以上の一割引にて差上ます	

材料のおまかせを願つて居ります為め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ます　御贈答客様からいつも御賛辞を戴いて居ります

御来店御召上りの時も御來客の時も仕出し等総べて御値段を御示し下さつておまかせへますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理して出來ますので之また御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO　平市停車場通　電話一二三　マルトモ食堂

一、齒科一般　保存科、補綴科、總齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ひ）　院長　日本齒科醫學士　日本齒科醫學士　中野齒科醫院　中野憲次　西川誠　電話五〇九番

銅鐵、金物問屋　釜屋商店　電九・九九